



こんにちは

白子の議会

です

第124号

平成29年5月18日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 北消防署員と交流する南白亀保育所児童

第1回 定 例 会

平成29年第1回定例会が3月7日と14日開催されました。

一般質問は、5名の議員が町政をただしました。

- 5議員が一般質問……………2～6ページ
- 条例の改正・補正予算・新年度予算の質疑応答・7ページ
- こんなことが決まりました……………10ページ



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は6月22～26日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

一般質問

町政をきく

総合戦略の進捗状況について

宗島 理仁 議員

議員 平成27年度に実施した地方創生先行型事業について、検証作業をどのように行ったのか伺います。

項目別に評価

町長 検証方法については、創生本部及び創生会議において妥当性、有効性、効率性等、項目別に評価を勘案し、最後に総合評価を行いました。

空き家調査について

議員 空き家に対し、取り壊し等を進めるための措置が整いつつあります。また、一方で、地域のコミュニティスペースとして有効活用など様々な事例も全国で見られています。

地方創生に向けた新たな白子町の魅力づくりがスタートし、来年度この

ような中、今回の白子町空き家調査の結果はどのようなものか、実態や詳細を伺います。

実態を把握していく

町長 既に現地調査は終了したと報告を受けております。

今後は、個別にアンケート調査し、固定資産情報などを基にして空き家の実態を把握していく予定です。

地域防災計画について

議員 地域防災計画について、町の実情に合っていない部分が多数存在をします。

計画のスリム化及び内容の改定は行われたのか伺います。

29年度より進める

町長 29年度の業務委託に予算計上してありますので、スリム化を含め改定を予定しています。

備蓄物資の充実に ついて

議員 避難所での要配慮者スペースを考慮するとともに、トイレ、車椅子等の高齢者用備品や障害に応じた障害者用備品、食物アレルギー対応食品の備蓄等に努め、拡充を図るべきです。

また、おむつや粉ミルクなど乳幼児向けの備蓄の充実も図るべきかと思いますが、29年度は予定されているのか見解を伺います。



最低限備蓄していく

町長 保存期間が短いことも考慮をし、粉ミルクや紙おむつ等、少量ですが新たに備蓄していきます。

公共施設等総合管理 計画について

議員 平成28年度中に公共施設等総合管理計画を策定し、将来の公共施設等のあるべき姿の構築に向けた取り組みを公表しなければならぬかと思いますが、策定状況及び計画の詳細について伺います。

遅れているが策定を する

町長 計画は遅れていますが、公共施設の統廃合、長寿命化を視野に策定する予定です。



防災計画の施策について

東海林 東治 議員

議員 防災計画施策の業務継続計画については、大災害で行政自ら被災し、人や物、情報等の利用が制約される状況下でも、優先的に実施すべき業務を特定し、執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定めるとあります。

前回定例会での質問時点で、策定すべき課題との答弁がありました。その後の進展状況を伺います。

課題の修正

町長 29 年度に修正してまいります。内容は、単独で策定するよりも地域防災計画の一部として追加した方が整合性にとり、利便性も高く活用しやすいと考えます。

在宅高齢者支援

議員 災害時における在宅高齢者支援での福祉用具の提供については、一般社団法人日本福祉用具協会では、東日本大震災の経験から大規模地震発生、集中豪雨等の災害時に迅速な福祉用具の供給体制がございます。

県内に於いても、多くの自治体が、備えておく重要性を感じ、協定書の締結をしておりますが、本町に於いて、今後の方針を伺います。

大きな協議事項

町長 災害時の締結している協定は全体で 17 項目の協定がありますが、福祉用具の提供協力に関する協定は現在締結しておりません。近隣市町村、または福祉部門、社会福

祉協議会、赤十字と連携を図り、民間事業者と調整協議してまいります。



指定管理業務委託

議員 白子荘と白子自然公園の指定管理業務委託を民間事業者と管理に係わる基本協定を締結しておりますが、協定書に備品等の扱い、備品等の貸与及び物品等の購入時に双方負担割合を協議の上決定するとありますが、その説明を求めます。

関連して、白子自然公園有料施設管理委託である公の施設を念頭に於い

て公平な運営を行う事とし、特定の団体に有利、不利となるような取り扱いをしないと定めてあります。

現実には、ある特定事業者の利用者が主に使用されているという声を聴きます。

その上で、使用受付は、同業者でなく、公平な運営を保つべきで、それを維持できる窓口を選択すべきと思いますが、見解を伺います。

適正円滑な管理を

町長 白子荘と白子自然公園は、カネイ産業と指定管理業務委託を締結しております。業務の範囲あるいは実施条件、又、備品等の取扱い、利用料金、指定期間等を定めております。施設等に問題が生じた場合、100 万円を基準設定し、それ以下の物は自前で調達し、それ以上は修繕、改修等を含めて定めております。

又、有料施設の野球場、テニスコートの利用状況

の細部にわたる報告は、毎月指定管理者より月初めに報告を受けております。

受付の問題ですが、管理を含めて指定管理者制度を適用しての実情でございます。

訪日外国人旅行者の受入基盤整備は

議員 宿泊施設のインバウンド対応と訪日外国人観光客が快適に満喫出来るよう滞在時の魅力向上に向けた支援をする為に、観光庁からの交付金があります。その活用で安心、安全な事業の施策について伺います。

予算化の推進

町長 インバウンド対応は、14 の宿泊施設で改修等を実施しております。

避難等に関する誘導案内看板、外国語案内板は、県の補助金を活用して 29 年度予算に盛り込んで事業の実施を図ってまいります。

機構改革は実施するのか

石井 和芳 議員

議員 平成 19 年 4 月に軽微な変更が行われ、現在の行政機構体制になり、その後 10 年間機構改革は行われていません。又その前の機構改革に至っては、20 年前であったとことです。要するに 20 年間で 1 度の機構改革があったわけです。民間企業であれば殆ど毎年のように機構改革が行われています。

その時の経済情勢、社会状況に機敏に対応しないと、最悪倒産ということにもなりかねません。倒産のない役所であつても、社会の変化に機敏に対応しないと近隣市町村から後れを取ることになります。近隣町村でも、ここ 2、3 年でまちづくり推進課、企画財政課等を作り、地域振興や町づくりを強力に推進しています。

林町政が誕生して 24 年が経ちました。明確なビジョンをもって町の発展と成長を願うのであれば、少なくともこのような事にはならなかったと思います。失われた 20 年にならない為に、機構改革を真剣に考えるべきだと思いますが、見解を伺います。

先進自治体を参考に検討

町長 白子町ではこれまで殆ど見直しをして来ませんでしたが、議員から何回も質問がありましたので、先進自治体の事例を参考に検討してみたいと思います。



地方創生は企画部門を丸投げか

議員 地方創生で企画部門は NTT に殆ど丸投げ状態でことを進めたように思えます。地方創生でも町づくりでも、強力な企画部門が主体的に自ら考え、自ら行動しないと結果はついて来ないと思いますが、見解を伺います。

丸投げはしていない

町長 地方創生で NTT に丸投げということはありません。創生会議を何度も開き、町挙げてこのことに取り組んでいるということですので、独立した課はなくとも総務課の企画部門がこれを担っています。

睦沢町のスマートウエルネスは企画部門の成果では

議員 睦沢町上市場で開

発規模 2.5 ヘクタール、予算規模 25 億円のプロジェクトが進んでいます。これは町の企画部門が主導し、道の駅、温浴施設、レストラン、住宅ゾーンが予定されており、現在は、町づくり推進課が担当しています。

白子町も町長の頭の範囲で全てを決定しないで、企画課を作り、自由な発想を大事にし、強力に推進しないと今後の発展が危ういと思いますが、見解を伺います。



職員の発想を制限していない

町長 いくら課を作っても、発想力の豊かな人、行動力のある人がいないと、いい企画は生まれません。よその良いところを白子町と比較していいとか悪いとか言わないでほしい。

睦沢町には人口を減らさない戦略があつた

議員 上市場地区にスーパー、ホームセンター等の商業施設を誘致し、隣接に若年者向け賃貸住宅を供給し、その近くには 200 戸近い住宅分譲地を整備した。元々拠点づくりを通じて町の発展を指向していたところに地方創生がはまり、現在となつたと思えます。

白子町も空き家対策だけでなく、魅力ある拠点づくりを通して人口減少に歯止めをかけて頂きたいと要望します。

総合戦略に於ける食育事業 について

北田 百人 議員

議員 加速化交付金事業の一環である食育事業「調味料元気メニュー開発」では、開発コンセプトとして、

○町民を元気にすることが

○白子町の食文化に沿った白子町らしい

○地域に対する愛着を育むことができる

の3点を挙げていますが、現在の進捗状況と今後の展開について伺います。



現在は道半ば

町長 調味料元気メニューの開発に関して、地元の農産物や調味料を利用したメニュー開発を検討しています。しかしながら現在は試行錯誤を

行っている言わば道半ばの段階であり、今後の展開を応援頂ければと思います。

にぼしを採用した経緯

議員 調味料元気メニューの開発ににぼしを採用した経緯とその狙いについて伺います。



豊富な栄養素

町長 白子町はにぼしの大きな産地となっております。

にぼしは現代人に不足しがちな栄養素を摂取するのに非常に適した食品であり、カルシウムをは

じめとする様々なミネラルを含んでいます。健康食材としても知られ、さらにはにぼしの旨み成分により減塩効果も期待できるなど、良い点がいっぱいある食材が地元で生産されていることに着目しました。

にぼしを調味料として、従来の使い方とは異なる方法を考えるというのがにぼしを採用した経緯です。

開発主導権について

議員 開発にあたり主導権は民間業者にあるのか、町にあるのか。また今後の様な体制のもとで進めていくのか伺います。

主体は白子町と

食生活改善協議会

町長 開発の主体としては、業者に丸投げしているというのではなく、白子町と食生活改善協議会が協調しながら取り組ん

でいます。現在は開発段階のため、材料は少しずつ調達しながら進めているところですが。

商品化に向けて

議員 最終的なゴールとして商品化を図るのか、調味料元気メニューをどの様に活用していくのか、そして生産者や白子町にどの様な経済効果をもたらすのか、その展望を伺います。

学校給食など多方面に

町長 今後、製造販売する主体については議論する必要がありますが、飲食店、ホテル、地元の学校給食などに調味料の利用促進を働きかけていきたいと考えています。

また、リサーチ活動を行いながら可能であれば商品化も視野に入れて取り組んでいきたいと考えています。

「近き者喜ばば遠き者来たり」という言葉のと

おり、まずは地元の町民から人気や支持を得て、そして多く買って頂ける様な商品を目指したいと考えています。

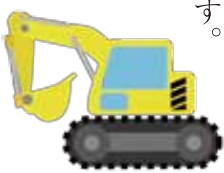
南日当橋の 工事進捗について

議員 南日当橋の工事の進捗状況について伺いたします。

今年度の完工予定

町長 南日当橋の工事につきましては今年度末の完成を予定しています。ただし、橋の前後である取り付け道路（剃金側の400メートル、及び南日当側の400メートル）については平成29年度当初予算に計上し、工事実施予定となっております。

工事は地元の皆さんの要望を踏まえ、稲作に支障を来さない時期に実施する予定です。



子育て支援対策を

市川 隆子 議員

子ども医療費の所得制限撤廃を求める

議員 子どもの貧困率は年々増え続け、子どもの6人に1人が貧困状態と言われ、深刻な事態となっています。

町では子ども医療費助成制度で、対象年齢を中学3年生までに拡大し、一部負担金だけで受診できるようになりました。

しかし、この制度には所得制限があります。子どもたちが公平に医療を受けられるよう、町も所得制限撤廃を考えないのか伺います。



所得制限撤廃する

町長 現在、本町での所得制限のある子育て家庭件数は、全対象者の2%です。費用を試算したところ、本支援の運営に大きな影響を与えるものではないので、少子化対策が町の重要課題である今、子育て家庭全てへの支援を一層推進していくために、平成29年度より子ども医療費の所得制限は撤廃します。

時期は、税の切りかえに合わせて29年8月1日をめどに準備をすすめます。

学習指導要領改定案の内容は

議員 文部科学省が小・中学校の学習指導要領改訂案を公表しました。教科で最も変わるのが

小学校の英語だと言われます。5・6年生は現在外国語活動としていますが、教科化になれば、評価は避けられませんが、どのような内容になるのか伺います。



教科化により数値による評価を行う

教育長 現在は、外国語活動を年35時間実施していますが、これに読むこと、書くことを加え、週2時間、年間70時間実施するようになります。

評価については、その特性および発達段階を踏まえながら数値で評価を行うことになっています。

3・4年生は、外国語の音声や表現などになれる親しませるようになるため、外国語活動を週1時間、年間35時間行い、5・6年生の教科型の授業につなげていくようになります。

就学援助入学準備金の増額を

議員 就学援助は、学用品や給食費などを援助しています。

入学準備には、小学校で5万円以上、中学校では7万円以上必要だと言われて、就学援助の単価とは大きな差があります。こうした実態を踏まえて、入学準備金を引き上げる考えはないか伺います。

1万円程度の引き上げをしたい

町長 現在の入学準備金は、小学校が1万9千9百円、中学校が2万2千9百円となっていますが、保護者の負担軽減を図るために、現在の要綱の見直しを行い、1万円程度の引き上げをしたいと思っています。

3月17日の定例教育委員会に諮り、承認されれば要綱を改正し、今月中に支給したいと思っています。

新総合事業現在の状況は

ます。

議員 改定介護保険法では、新総合事業への移行を2015年4月実施としましたが、2017年4月まで延期できると言う猶予期間が設けられていました。厚労省は早期移行を推進し、町もみなし指定で早期移行したと思いますが、現在の状況について伺います。

順調に実施

町長 既存のサービスからの移行ということもあり、順調に実施されています。また、この他にもより緩和した基準によるサービスや住民主体のサービスタイヤ、住民主体による多様なサービスを新総合事業として、平成34年4月から実施したいと思いい、現在準備をすすめています。

補正予算・平成29年度 予算等に対する質疑応答

白子町一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第1号

【市川隆子 議員】

議員 子どもに対する手当が段階を追って増額になり、逆に配偶者手当は段階を追って減額になっていますが理由を伺います。



総務課長 子どもに関する手当を充実して、配偶者に対する手当を減額して賄うという国の方針です。

白子町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案第8号

【大多和秀一 議員】

議員 国民健康保険事業が、平成30年度に広域化の移行へと準備が進められる中で、あえて今回税の改正をする理由について伺います。

町長 国保の運営は非常に厳しい状況になっています。これに対し基金の取り崩し等で賄っているのが現状です。平成30年度から広域化になります

が、その時は今の税率と比較すると急激な引き上げが予測されています。

また、制度も不明瞭なところがあり、各市町村の工夫・努力がそのまま認められるとは限らない事にもなります。さらに市町村の水準を相応に合

わせる指導もある事から、段階的に上げておかないとあまりにも急な引き上げになるといふ懸念から、引き上げを行うものです。

【市川隆子 議員】

議員 国保は広域化が目前に迫ってきていますが、その時に急激に上げるのを抑えるためとの説明がありました。

現状のまま広域化になった場合の引き上げ額の見込みが試算されているのか伺います。

また、昨年は医療分の限度額引き上げ、今度は介護分と後期高齢者分の引き上げと続いていますので理由を伺います。

税務課長 見込みはわかりませんが、国の基準で町の現状で試算すると、

217万円税額が上がります。

町長 1回に引き上げるのと諸問題が出てきますので、最小限に抑え算出しました。大変厳しい状況のなか、この基準まで上げなければならぬことをご理解いただきたいと思

白子町ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について

議案第9号

【東海林東治 議員】

議員 供給条件の追加で、宅送供給の部分にガスを供給する事業者のガスを本町のガス管に繋ぐ場合、料金の差が生じるか。

2点目に宅送供給に関する供給条件その他必要な事項は町長が別に定めるとあります。

どの様な場合を示す事項なのか伺います。

ガス事業所長 料金の差は生じてきます。原材料の原価は小売り事業者が独自に算定する関係で差が生じてきます。

2点目の質問については、参入条件が様々な状況があり、卸売りに元に入るのか、本町の導管網に入って接続して混ぜ込み後の供給か、その度異なる状況で小売り元と契約条件を決定する為です。

平成28年度白子町一般会計第4回歳入歳出補正予算について

議案第10号

【宗島理仁 議員】

議員 財政調整基金積立金が7千6百万円余り追加で計上されています。

子育て支援の充実や子ども医療費の強化などに積極的に活用すべきかと思ひますが、見解を伺います。

2点目として、総合戦略効果検証支援業務委託、公共施設等総合管理計画支援業務委託、緊急避難施設設置調査業務委託、空き家等実態調査業務委託の4つの業務委託は、議会への説明会の開催をしていただけるか見解を伺います。

町長 基金の活用については、効果のある活用方法を模索していきたいと思ひます。

説明会につきましましては、今後、開催いたします。

平成29年度白子町国民健康保険事業特別会計第2回歳入歳出補正予算について

議案第11号

〔大多和秀一 議員〕

議員 国保運営の厳しい現状から、税の改正、値上げをする議案が可決されたが、補正予算書を見る限りでは歳出の増よりも、減の傾向が見られるが、その理由について伺います。

住民課長 予算に対しての減額であり、医療給付費等は決して減をしている訳ではありません。節約をしたり、健康づくり事業などの取り組みにより抑制につとめています。が、厳しい状況にあります。

平成29年度白子町一般会計歳入歳出予算について

議案第15号

〔宗島理仁 議員〕

議員 緊急避難施設整備事業ですが、調査事業が終了していない段階で事

業費を計上しています。何を算定根拠にこの事業費を計上しているのか伺います。

また、今回の南白亀地区の緊急避難施設整備が完了すれば、次は白濁地区の高い建物がない中川岸、南川岸、五井東、八斗東の4地区の整備に取りかかるべきだと思いますが、今後の事業の進め方について見解を伺います。

町長 避難施設について、長生村の施設を想定し、算出しています。

白濁地区の整備については、茂原白子バイパスを避難道路とし、県と一緒に整備を進めていますので、そちらを優先することと考えています。その後、状況を鑑み、必要であれば検討します。

〔東海林東治 議員〕

議員 交際費について伺います。副町長の交際費は、町長の交際費内に含まれているのか伺います。

次に第2公用車の買い替えであります。経費節減と税収減の傾向の時に買い替えが必要な状況にあるのか伺います。

3つ目に、福祉タクシーの件です。各事業者より本町への請求書作成代金、送付代金費用をお客側（本町）が、支払い続ける事は理解出来ませんが見解を伺います。

最後に創業支援については、具体的にどのような支援内容なのか伺います。

町長 副町長は、主に町長の代理での出席がほとんどの為、町長の交際費内です。

公用車ではありますが、廃車か継続かの判断は、違いがあると思います。が、一般的な今までの買い替え方です。ご理解いただきたいと思います。

福祉タクシーの請求書等の経費ですが、スタート時点で町から事業者へお願いした経緯があります。過去にも指摘があり減額して頂き、今後は交渉して参ります。

商工観光課長 創業支援は、官公庁への申請書類作成費、店舗の借り入れ費、設備費、建設費、マーケティング調査費、広告宣伝費、等々を考慮しておりますが、全ての経費の1/2で、上限100万円です。

〔大多和秀一 議員〕

議員 圏央道の木更津・茂原間の開通により、人の流れ、物流についても良い影響が出ていれると思われ、この圏央道と白子町をつなぐ茂原白子バイパス道路が、県で事業採択をされてから相当の年数が経過しているが、この進捗状況について伺います。

町長 平成8年の事業採択だと思えますが、遅々として進まないところがあり、怒りさえ感じている事があります。

この道路は4工区に分けてあり、白子、茂原双方から同時進行する予定でした。しかしながら茂原側は全く進んでいない

のが現状です。県道ではあります。町と市での温度差が生じているという事だと思えます。

白子側も震災以降、避難道路として位置付け、サッカー場まで進めてきました。ただ用地の取得の中で、相続を含めた相当複雑な問題もあり、進捗を妨げる大きな要因となつています。

〔齋藤鉄也 議員〕

議員 コミニティ・プラントについて、現在の接続率を伺います。

環境課長 平成29年2月末現在で、78%の接続率となっております。

議員 人口減少が進んだ場合、コミニティ・プラントを使用する地域住民の負担増や収支の関係から施設の運営も危うくなる可能性があると思えますが、町としては、この問題をどのように考えているのか、見解を伺います。

町長 人口減少は、コミニティ・プラントの他、ガスや水道等の経営・運営についても非常に大きな課題であります。各地域においても同様の問題を抱えており、他の地域とも連携を図りながら、問題解決に取り組む必要があると考えています。

【市川隆子 議員】

議員 養護老人ホームの入所措置事業で、入所者は何人か。また、利用料等についてと、一生入所が可能なのか伺います。

保健福祉課長 養護老人ホーム長生共楽園に3名入所しています。自己負担金は、年金等の収入額で決まります。また、障害等出ても一生入所可能です。

議員 妊婦一般健康診査費用ですが、回数と対象人数は何人を予定しているのか伺います。

また、体調が悪くなり健診以外の医療が必要になった場合の助成は考えないか伺います。

保健福祉課長 最高14回

対象者は60名を予定しています。

また、医療費が発生した場合、交付できるような制度を探していきたいと思っています。

【板倉正道 議員】

議員 飼料用米・加工用米等流通加速化事業の補助金が計上されていますが、これによる転作の達成率はどれ位になるのか伺います。

産業課長 平成28年度実績は178ha程ですが、29年度100%達成するには258ha必要です。

産業課も一丸となって、申請の際には生産者にお願ひし、目標を達成したいと思ひます。



平成29年度白子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について 議案第16号

【市川隆子 議員】

議員 平成30年度から国保が広域化されます。これにより、国保の体制がどのように変わるのか伺います。

住民課長 財政運営の責任主体が県で、市町村ごとの国保事業納付金決定を行い、財政安定基金の設置運営を行います。

町は、国保事業納付金を県に納付し、保険料は県から示された標準保険料等を参考に決定し、賦課、徴収を行います。

議員 国は、市町村の給付費削減の努力を評価して、保険者努力支援制度を2018年度から本格実施すると聞きました。町でも聞いていますのか伺います。

住民課長 国が、毎年1千7百億円をその支援に對して分配すると聞いています。

平成29年度白子町後期高齢者事業特別会計歳入歳出予算について 議案第17号



【市川隆子 議員】

議員 後期高齢者の被保険者数と軽減者数を伺います。

住民課長 被保険者数は2千55名です。軽減者は、全体の7割で1千400名の方です。

議員 こうした実態のなかで、新年度から低所得者等に対する保険料の軽減特例を縮小するということですが、内容を伺います。

住民課長 平成29年4月1日から、均等割5割軽減の基準が、33万円プラス26.5万円が27万円に改正されます。

2割軽減は、33万円プラス48万円が49万円に変わります。

所得額の軽減は、28年度までは5割でしたが、29年度は2割となります。

被扶養者だった方は、28年度までは9割でしたが、29年度以降は7割になります。

平成29年度白子町介護保険事業特別会計歳入歳出予算について 議案第18号

【市川隆子 議員】

議員 総合事業は、質を低下させないままでおりのサービスが続けていけるのか伺います。

保健福祉課長 今のところ負担割合は変わりありませんので、このまま継続は可能と思われま

議員 単なる家事代行では、利用者の生活意欲の向上だとか、認知症の早期発見ができないという状況があると言われています。

今後専門職であるヘルパーによる介護を継続させるよう要望します。



同意

白子町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

■ 固定資産評価審査委員に次の者が提案され、全員賛成で同意されました。

氏名 荒井 克政
住所 五井1718番地
(五井東)

発議案

【発議案第1号】
議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

【発議案第2号】
白子町議会委員会条例の

一部を改正する条例の制定について(可決)



議案

白子町一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてなど、20件の議案が審議され、いずれも可決されました。

詳しくは、広報しらこ4月号をご覧ください。

永年在職議員表彰

第1回定例会において、議員に対し表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、全国町村議会議長会より、永年にわたり地域振興と地方自治の進展に尽力された功績により表彰されるものです。

本町から1名の議員が表彰されました。心からお祝い申し上げます。

自治功労者
(議員在職十五年以上)

板倉 正道 議員



編集後記

風薫る5月の青空に、新緑若葉が映る季節になりました。

現在、わが国では、一段と少子高齢化が進み、その影響による社会経済情勢の変化に伴い、様々な産業分野において、将来にわたる持続的な成長・発展が危ぶまれています。

白子町におきましても、少子高齢化が進み、人口減少が大きな課題となるなか、行政に対する住民のニーズは多様化・複雑化しています。

町の発展は、人口増加が基本であると思います。今後とも、若い世代が白子町に住みたい、住んで良かったと思えるまちづくりに取り組んでまいります。

白子中学校の校訓である「自学・協働・白愛」を見習いながら、町民・議会・行政が力を合わせ、住み良い白子町づくりにまい進しましょう。

酒井良信